氏名          田井 千秋

学位の種類       医学博士
学位授与番号     甲第166号
学位授与の日付   昭和40年3月31日
学位授与の要件   医学研究科外科系外科学専攻
（学位規則第5条第1項該当）
学位論文題目    Immunolchernical Analysis of Antigeneric Properties of Tumor（腫瘍抗原成分の免疫学的分析）

論文審査委員    教授 田中 早苗 教授 砂田 輝武 教授 塚尾 章丸

学位論文内容要旨

腫瘍組織は、正常組織と同様種々の組織抗原の存在が認められている。しかし腫瘍組織特異の抗原の存在に関しては問題が多く、特に自然発生腫瘍は宿主組織と免疫上同じで、その質的抗原性の差に関しては未だ推量の域を出ない。

著者は臨床上癌患者に観られる免疫現象を自己抵抗性に着眼して、人辺癌組織の抗原成分を免疫化学的に分析し、一般に癌組織では臓器抗原の著しい減少を認める外、正常人組織に存在しない抗原成分等他臓器癌と共通な、いわゆる癌特異抗原のあることを認めた（第1編）。純系CαHマウス肝細胞由来のMH134腹水腫瘍では、臓器特異性抗原の消失が判然としている外、特異な腫瘍抗原を検出し得なかったが、同種移植実験で、腫瘍細胞抽出液の前処置による抵抗性導入の現象を認め、MH134腫瘍特異抗原の存在が推測された（第2編）。

以上腫瘍組織は、正常組織抗原の減少と一部消失の外、いわゆる腫瘍特異抗原の存在することが判明した。

（Acta Medicine Okayama Vol. 19, No. 2に掲載予定）
論文審査の結果の要旨

田井千秋提出の「腫瘍抗原の免疫化学的分析」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

即ち、田井は人胃癌組織の抗原成分を免疫化学的に分析し、一般に癌組織では臓器抗原の著しい減少を認めるとする外、正常人組織に存在しない抗原成分が他臓器癌に共通して、いわゆる癌特異抗原のあることを認めている。

次に純系 C3H マウス肝細胞由来の MH134 腹水癌では、臓器特異性抗原の消失が判然としている外、特異な腫瘍抗原を検出し得なかったが、同種抗移化実験で腫瘍細胞抽出液の前処置による抵抗性導入の現象を認め、MH134 腫瘍特異抗原の存在が推測された。以上の如く腫瘍組織には正常組織抗原が減少し、腫瘍特異抗原が出現していくことを明らかにしている。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与されるべき学力を有すると認める。